

## 令和4年度 学校経営計画

### 1 学校教育目標

夢と希望をもって、未来を拓く生徒の育成を目指し、次の教育目標を設定し、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる。

- 人権を尊重する生徒の育成
- ◎自ら学ぶ生徒の育成（最重点）
- 心身ともに健全な生徒の育成

### 2 「おおた教育ビジョン」の重点プラン

次の6つのプランに基づき本校の教育活動をすすめていく。

- (1) プラン1 未来社会を創造的に生きる生徒の育成
- (2) プラン2 学力の向上
- (3) プラン3 豊かな心の育成
- (4) プラン4 体力の向上と健康の増進
- (5) プラン5 魅力ある教育環境づくり
- (6) プラン6 学校・家庭・地域が一体となってもにすすめる教育

### 3 教育目標を達成し、「おおた教育ビジョン」を実現するための今年度の重点

「生徒のための学校、学ぶことが楽しい学校」を目指し、生徒が通いたくなる学校になるよう次の重点を掲げて取り組んでいく。

学校において、いじめの未然防止や早期解決、また不登校（傾向）生徒への対応は喫緊の課題である。この課題を解決していくためには、授業や行事、部活動等の学校生活において、生徒一人一人が課題意識をもって自ら考え、仲間の意見を聴き合う関係性を構築しながら、その課題を解決していくような「探究的な学び」を進めていくことが有効ではないかと考える。そのために、今年度の研究主題として「いじめの未然防止・不登校（傾向）生徒へのさらなる対応のために～『探究的な学び』を通して～」(令和4・5年度)を設定し、全教職員が同じビジョンをもって組織的に取り組んでいく。

- 人権を尊重する生徒の育成、プラン3・5
  - ・教員相互の人権研修の充実
  - ・年間指導計画に則った人権教育の実施
  - ・いじめの未然防止や早期解決、不登校（傾向）生徒への対応
- ◎ 自ら学ぶ生徒の育成、プラン1・2・5
  - ・「探究的な学び」を実施していくための校内研究の充実
  - ・探究的な学びにおけるICTの活用
  - ・生徒の4人グループでの学びの推進
- 心身ともに健全な生徒の育成、プラン4・6
  - ・日常の委員会活動をはじめ、生徒心得検討委員会や行事委員会等も含め、生徒の主体的な活動を充実させ、生徒のための学校作りの推進
  - ・教師が指導の軽重を考え、生徒の失敗をも学びにつなげていくような考えさせる指導の実践
  - ・生徒同士も元気なあいさつを交わし合える指導

#### 4 重点を達成するための具体的な方策

##### (1) 人権を尊重する生徒の育成、プラン3・5

###### ① 教員相互の人権研修の充実

- ・人権教育プログラムを活用した教員の個人研修や全体研修を充実させ、教職員の人権感覚を磨き、人権意識高める。
- ・小中一貫教育の日などを生かして、生徒たちが小学校で培ってきたことへの理解を深め、小学校との指導の一貫性を大切にする。

###### ② 年間指導計画に則った人権教育の実施

- ・年間指導計画に則り、組織的、計画的な人権教育を行う。また、教員相互の人権教育で学んだことを日常の生徒指導に生かしていく。

###### ③ いじめの未然防止や早期解決、不登校（傾向）生徒への対応

- ・いじめを未然に防止できるような学級・学年の雰囲気作りに努める。いじめが発生した場合は、早急に事実確認をするなど最優先事項として取り扱う。また、いじめ防止対策委員会を開催し、学年だけに任せることなく組織的な取り組みを行う。
- ・いじめに至らないまでも、未然防止策の一つとして、からかいやちょっかいに関しても情報を共有し、全教職員で見守る体制を作る。
- ・「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」（令和元年10月25日付文部科学省）を参考にしながら一人一人にとって最善の方策がとられるように組織的に対応する。また、不登校生徒が自宅においてICT等を活用した学習活動を行った場合の出欠についても考慮する。
- ・学級担任・副担任といった区別はせず、学年の教員がすべての学年の生徒に関わっていくようにする。

##### (2) 自ら学ぶ生徒の育成、プラン1・2・5

###### ① 「探究的な学び」を実施していくための校内研究の充実

- ・大田区教育委員会教育研究推進校（令和4・5年度）として、研究・進路学習部を中心として教職員が同じビジョンをもち取り組む。また、少人数の教員グループを構成し、授業を見合い、話し合うことを通して研究を深める手立てとする。各教科で単元計画の見直しも行う。

###### ② 探究的な学びにおけるICTの活用

- ・ICT委員会を中心にさらなる活用に取り組む。

###### ③ 生徒の4人グループでの学びの推進

- ・4人グループを構成し、「聴き合う」関係を構築することで、「学ぶことが楽しい」授業にする。
- ・4人グループにすることで、自分の役割を確実にもつとともに、グループの中でのコミュニケーション能力を高め、自己肯定感の向上につながるようにしていく。

##### (3) 心身ともに健全な生徒の育成、プラン4・6

###### ① 日常の委員会活動をはじめ、生徒心得検討委員会や行事委員会等も含めて生徒の主体的な活動を充実させ、「生徒のための学校」作りの推進

- ・自分たちで決めたことを自分たちで守っていく気持ちを育て、自主的な活動になっていくような指導を心掛ける。

###### ② 教師が指導の軽重を考え、生徒の失敗をも学びにつなげていくような考えさせる指導

- ・生徒の命や安全に関わること、いじめやからかい、不適切な言葉の使用等に対しては重くとらえ即時に指導する。生徒心得に関すること、失敗してしまったことできなかったことなどに対しては頭ごなしに指導をせず、生徒に考えさせる指導を行う。

###### ③ 生徒同士も元気なあいさつを交わし合える指導

- ・さらにあいさつがあふれる学校になるようにするにはどうすればよいかを生徒が考え、それを実践していくことができるような指導を行う。